

新年のごあいさつ

坂東市長

吉原 英一



明けましておめでとうございます。市民のみなさまには希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

旧年中は市政運営に深いご支援とご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。本年は坂東市誕生10周年を迎え、各種記念事業を開催するとともに、引き続き、市民のみなさまとの協働をより一層推進し、安全・安心に、そして笑顔あふれる生活ができますよう、活力あるまちづくりに取り組んで

まいります。

安全・安心なまちづくりにつきましては、災害時の犠牲者ゼロを目指して、古河市、境町、五霞町、茨城県建設業協会境支部との相互応援協定や茨城西南歯科医師会との医療救護協定を締結し、応援体制のさらなる強化を図ってまいりました。さらに、被害状況を速やかに把握し、素早く人命救助や復旧に対応できる災害用ラジコンヘリコプターを導入するなど、今後にも万全の対策を進めてまいります。また、市役所新庁舎の建設につきましては、平成28年7月末の完成を目指し工事に着手します。新庁舎は免震構造の採用や最大21日間の災害対策活動が行える機能を持たせ、市民のみなさまの安全を確保する防災拠点となるよう整備を進めてまいります。

中心市街地活性化施策につきましては、昨年開館20周年を迎えた

茨城県自然博物館に訪れるかたを中心市街地へ呼び込み賑わいを創出するため、旧大塚酒造跡地の整備を進めています。歴史的建造物を活かし、子ども達や家族連れが楽しめる、体験型ガラス工房の4月の一部オープンを目指し施設の整備を進めるとともに、将来、「坂東ガラス」として、全国に知れ渡るような工芸品の開発を目指し取り組んでまいります。

来年3月には圏央道坂東インターチェンジの開通が予定されています。圏央道の開通は産業の活性化や都心との交流が一層活発になるとともに、企業を誘致することと、就業場所や税収の確保が期待できます。半谷・富田工業団地につきましては、本年中の一部分譲開始を目指し整備を進めてまいります。また、以前から誘致活動を進めてまいりました圏央道のパーキングエリアにつきましても、弓田地区への設置が決定しました。工事は数年後になりますが、パーキングエリアの隣接地に一般道か

からも利用できる農産物直売所や飲食施設などを整備し、観光や特産品のPRを行うなど地域活性化に取り組んでまいります。

そのほか、認定こども園の整備や産科・産婦人科の医師養成補助金や開業資金の貸付制度の制定などを行いました。今後も安心して子育てができるまちづくりを目指し、子育て支援体制の整備や医療体制の充実を図ってまいります。

市の財政事情は依然として厳しい状況にありますが、農業を中心に商業、工業をバランスよく発展させ、活力あふれる坂東市づくりを推進し、子育て支援、学力向上対策や教育環境の整備、福祉の充実、農商工業の活性化など、次代を担う子どもたちが夢と希望に満ちあふれた活気あるまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、市民のみなさまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。